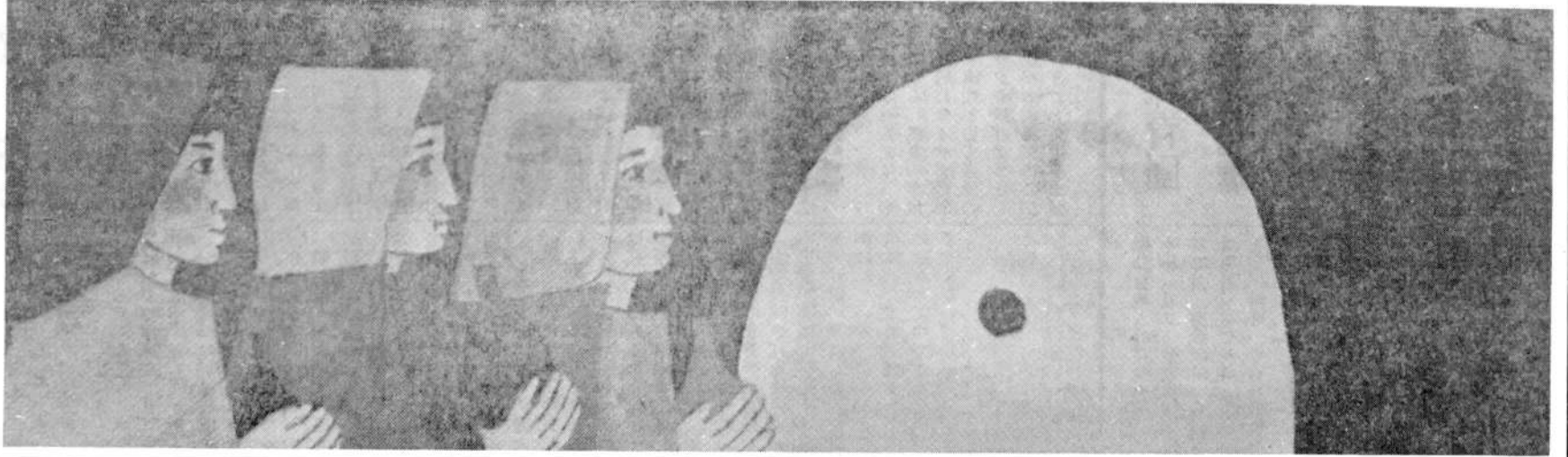


1. 教会에 革新을!
2. 社会에 變革을!
3. 世界에 所望을!

内일의 世界에의
예수의 부활 出沒



五月會議臨迫

우리의 살길을 찾아서

오는 五月六日로부터十日까지 京都의 関西세미나 하우스와 大阪의 在日韓國基督教会館을 會場으로 全世界가 注目하는會議가 열리게 된다. 主催者 在日韓國基督教会總會는 一年前 日・北美宣敎協力委員會(JNAC)의 發足에 있어서 이제부터의 日本에서의 宣敎領域에 在日韓國人問題를 重要課題로 삼고 問題를 明白히 하며 이 領域에서의 宣敎戰略을 세우기 위한 國際會議開催를 提議하였다.

이에 応하여 日・北美宣敎協力委員會를 비롯하여 日本, 韓國, 美國, 英國, 加拿大, 日本基督敎聯合會(NCC), 카나다 기독교협의회(CCA), 世界學生기독교연맹(WSCF), 世界기독교협의회(WCC)가 積極적으로 後援한 宣敎戰略會議로 關係代表까지 보내주기로 되었다. 主催者는 너무 많은 參加希望者를 會場의 關係上 整理하지 아니하면 아니될 困難에 直面하고 있다. 이와같은 熱意는 世界적으로 少數者問題가 시대의 焦點에 비추어지는 問題의 重大性에서 오는 것이다. 그러므로 提議된 會議參加者의 役割에 半數의 代表者를 少數者側에서 招待하고 同時에 各教會의 宣敎部担当者者 또는 이問題에 關係하며 具體的行動에 參加하고 있는者를 招待하여, 같이 生覺하고저한다. 玆에 金君植 北美(舍카나다)에서 黑人系四名, 라틴아메리카系二名, 아세아系六名, 인디안系二名, JNAC加盟教會代表六名, 본總會에서 十二名, 日本キリスト敎團六名, 未解放部落關係二名, 아이누一名, 中国(台灣)人二名, NCC

少数民族問題와 宣敎戰略의 國際會議

연 在日韓國(朝鮮)人을 規定하는 法이 玆까지 南北의 國家主權이 六十萬을 자기들 나름대로 포함하려고하며 한편으로는 스스로가 民族의 主權을 確立하고자하는 人들을 確立하고자하는 人들을 이概念으로 總括하는것은 困難하다.

이러한 現實에 比較하여 볼때 아이누와 같은 少數者와는 다르다고 말하지 아니할수 없다. 그럼에도 불구하고 아이누의 政治, 經濟, 諸理由에 對한 差別의 抑壓아래 偏見과 差別을 받게 된 社會的集團이라기보다 더 包括的으로 規定하고 싶

도 望하지 않는다. 「過去七十年間, 在日韓國人의 比較的 多數者가 이 나라에서 少數者로써 存在해왔다. 日本帝國이 힘을 發揮할 時代에 朝鮮을 併合하여 그一部分이 되었다. 그러나 第二次大戰後, 이關係가 깨어져 在日韓國人은 外國人이 되고 이 에 따라 人間이 享有해야 할 諸權利를 保障받지 못 한채 現在에 이르렀다. 最近에 와서 少數者問題에 對한 관심이 깊게 되었고, 이 주제에 對한 文書가 많이 나오므로 더욱 明白해졌다. 日本에 있어서도 差別과 抑壓의 實態가 韓日兩方의 學者들에 의하여 明白해지고는 있으나 不幸하게도 問題의 描寫에 있어서 具體的解決이 따르지 않고 있다. 在日韓國人問題는 世界의 다른狀況 아래 있는 少數者問題와 共通部分이 많은데 어느면에서 있어서는 全然 特異하다. 朝鮮人渡來의 環境이 日本植民地支配 아래서는 徵用이라든가 強制連行의 모양으로 日本에 居留하게 되었고 그 결과로서는 바람직못한 結果로서는 地位에 물아 넣어 特殊한 範주에 놓여 있게 되었다. 日本에 있어서의 少數者의 그리스도인이 差別의 不正에 責任을 느끼게 된 것 도 望하지 않는다.

日本 NCC 主催로 一九七二年七月 이問題에 對한 協議會를 가졌다. 이 協議會는 問題의 實態에 對한 情報交換 또는 資料센터設立의 必要함을 規定은 하였으나, 具體的으로 그 成果는 한계가 있었다. 問題는 여전히 未解決의 狀態이며, 日本人의 關心度도 매우 낮다. 이狀況을 새로운 客觀的으로 보기 위하여 日本의 問題에 直接參與하여 이 問題에 그르우프가 對한 協議會로써 이問題를 遂行해 나가게 되지는 아니할까. 이점에서 在日大韓基督敎總會는 一九七四年五月에 協議會를 計하고 在日韓國人問題를 世界各處에 있는 비서한 問題를 찾아내어 서로 배울수 있는 機會를 提供코 자한다. 會議의 目標을 세領域으로 나눴다. 一、少數者의 創造的役割을 聖書의 展望에서 確立할것. 二、少數者의 狀況에서 抑壓받고 있는 者들과의 國際的連帶를 具體的으로 模索할것. 三、이問題에 關係를 가지기 위하여 그리스도者間에 宣敎協力의 새로운 根을 열며 그것을(草의根)을 運動으로써 展開할것. 이러한 目標에 到達하기 위하여서는 前題가 되는 問題가 있다. 日本과 같은 文明의 同化作用(뒤바꾸면 差別과 排斥가 된다)이 強烈한 狀況에서 創造的役割이란 어떻게 하면 할수있겠는가. 그때 主體의 問題는 어떻게 받아지게 되는가. 少數者란것이 問題인데, 더우기 이러한 그르우프의 分列의 現象을 가진그 內的的要因은 무엇인가. 하나의 狀況에서 連帶할수 없는 內的問題를 가지고 있는가. 北美的에 있어서의 成功, 不成功의 經驗을 배우면 少數者의 狀況과 그 것을 만들어내는 狀況을 向하는 宣敎戰略은 어떻게 짜야하지 아니하면 안 되는가. 五日간의 프로그램은 먼 저 이와같은 問題를 근 거로 日本의 情勢는 日本人과 韓國人의 發題에 依하여 會議에 발표한다. 主題講演은 두번 하게 된다. 金君植 北美의 宣敎會가 이會議을 重要視하여 巨物의 黑人指導者를 보내온다. 理論家로써도 훌륭하지 만 黑人運動에 自己自身을 投身해온 NCC議長 W.S. 캐리博士가 곧그 사람이다. 「少數者의 意 味」란題目으로 講演하게 된다. 다른 한사람은 「國際的連帶와 宣敎戰略」이 란題目으로 講演하게 되 는다. CCA 副議長 H. 다니 엘씨다. 아침 聖經工夫는 WCC의 宣敎部幹事 朴相增氏에 의하여 인도된 다. 四의 分團(少數者의 意 味, 神學的側面, 文化와 教育, 政治와 經濟, 國際的連帶)이 具體的宣敎戰略을 提示한다. 이會議는 玆까지 準備되고있으나 日本 教會團만 아니라 日本社會에 對한 期待하는바이다. (本總會代表)

李仁夏 俞錫潯 金君植
金德成 黃義生 崔昌華
金得三 權仁淑 申英子
吳榮一 金秀男 金性濟

新編集人 金君植
金君植牧師의 京都教會 赴任으로 말미암아 玆에 4월16日 任職會議는 본 報編集人에 金君植牧師를 任命하고 補佐에 姜榮一 講道師를 승인하였다(새 편집위원 명단은 임직원 회보고란 참조).

埋立工事ブルドーザー工事
レ ッ カ ー 作 業

金坂建設株式會社

金 再 龍

岐阜市長良真福寺3332-2
電話 32-4462(代)
大阪出張所 (06) 932-6312

東和食品株式會社

代表取締役 李 東 和

東京都江東区永代2-11-3

宅建千葉県知事登録(1)第3841号

三信商事株式會社

代表取締役 權 富 仁

本 社 千葉県八千代市米本1448-1
電 話 0474 (88) 5579・1613番
營業所 千葉県船橋市前原西1-25-18
電 話 0474 (76) 6181-2番

〒615 京都市右京区西院西淳和院町22
電 話 075 (311) 0063

本町店 大阪市東区船場中央4丁目1番地
船場センタービル8号館2F281号
電話大阪(06)251-5444番
自 宅大阪市東成区東小橋3-4-12
電 話大阪(06)981-2980番
974-7715番

中高生母国訪問団員たち

본총회에서는,拘束된敎
役者の家族을돕기위하여韓
國NCC를通하여一三七〇
〇〇円을보냈다. 이지원금
은, 지난三月四、五日、京
都敎會에서모였던會議上
에서獻金된것과 關西地方
會에서모금된것으로、第一
次の送金이다.

五月会議迫る

マイノリティ問題と宣教戦略



セミナーハウス

系や教育体系の中でいかに反映されているか、それが韓国やアジア諸国に対してどのような対峙方となるのか、そしてそれが日本人自身の人間性をいかに喪失させているのか、という問題にさげねばならないであろう。

こうした問題を明かにし、この領域での宣教戦略を考へ、国際連帯をはかるため、在日韓国基督教総会は、国際会議を主催することにしたのである。

会議の目標として、①マイノリティの創造的役割を聖書の展望から確立すること、②マイノリティの状況での抑圧されている人々との国際的連帯を具体的に模索すること、③この問題に関わるために、キリスト者間に宣教協力の新しい道を開き、それを草の根運動として展開すること。

こうした会議の目標である三つの領域に対し、世界のキリスト教諸団体からの参加とマイノリティ問題をかかえる集団から、北米在住の黒人系、ラテン・アメリカ系、アジア系、インド

アン系、そして日本のアイヌ及び未解放部落等、総勢80名が参加して会議が行なわれる。

5日間のプログラムでは、日本におけるマイノリティ問題のケースを、日本人と韓国人の発題者によって問題点を挙げる。また二つの主題講演がなされる。一つは米国のNCC議長、W・S・ケアリー博士が、「マイノリティの意味」と題して、もう一つは、C・C・A副総幹事のH・ダニエル氏が「国際的連帯と宣教戦略」と題して講演する。

そして四つの分科会議①マイノリティの意味・神学的側面、②文化と教育、③政治と経済、④国際的連帯を通して具体的な宣教戦略を提示する。

この国際会議が教会のみでなく、日本社会になぜかけるインパクトが大きいものであること、そしてこの国際会議を通して、人間の尊厳性と社会正義のために闘っている世界の教会が、確固とした連帯の歩みを進めはじめることを期待している。

●(代表表)

李仁夏	金錫濤	金君植
金徳成	黄義生	崔昌華
金得三	権仁淑	申英子
呉榮一	金秀男	金性濟

在日韓国人は、日本の少数民族ではなく、在日韓国人問題を少数民族問題として規定していくことは正しくない。一般的にマイノリティというものは、少数者と少数民族と訳されているが、私達はマイノリティ問題を単に少数者や少数民族が受けている偏見や差別の問題とするのではなく、本質的には民族や人種の違いを口実にした支配や抑圧の問題であると考えてたい。

ヒフの色や、歴史・文化の違いによって、民族や人種の優劣を定め、それによって支配や差別・抑圧を正当化している実態がマイノリティ問題といわれている。在日韓国人問題は、日本

の植民地政策によって出されたものであった。朝鮮民族は日本人より劣るという「神話」によって、植民地支配が正当化されたし、現在も在日韓国人は差別・抑圧されているのである。在日韓国人問題の解決には、あらゆる角度から問題点を検討しなければならぬが、ますます強化されている植民地時代の「神話」が、日本社会の法体

在日韓国人問題を国際的展望と連帯において追求する



●(株)日立差別生産会社

日立製作所は、自らの犯した差別行為が厳然として存在しているにもかかわらず、「日立は差別を犯した」とは言い、日本社会にも差別があると認識していない。と公言してはばからない。しかし、そうした日立の居直りは、裁判の経過とともに鋭く、そして激しく指摘され、運動の広がりによって強く糾弾された。四月八日に行われた四回目の日立運動体は入手した日立の秘密文書を読み上げた。秘密文書によると、日立は労働担当者の研修会において、思想信条の自由、宗教の自由を否定し、精神・肉体異常者、創価学会員、学生運動者は最低限雇わないとし、外国人も雇わないと確認の上、日立の全事業所に通達を発しているのである。

日立の差別行為は、どこまでも知らず、在日韓国人のみならず、多くの日本人をも差別して止まぬばかりか、前記の研修会においても明らかに、差別行為を生産している。日立の採用条件の一つである戸籍簿本一つをとって見ても、そのことによって在日韓国人をエックするばかりでなく、被差別部落出身の人々を締め出す手段の道具としているのである。日立の魔手は日本国内に止まらず海外へものびている。東南アジア、台湾、フィリピンは魔の触手をのびている。借款にからんで利権をむさぼり、韓国アルミ会社をついに倒産させたことは、本国においても大きな問題となり、本国の国会において繰り返して追及されたのである。そしてソウルの地下鉄車庫を日本の市価の十倍で売りつけるという悪どさである。また韓国の労働力の豊富さに目をつけ、低賃金による搾取をもちろんで

いるのである。こうした日立を、われわれは何としても許すことはできない。解放前、日立の親会社である日立鉱山は、数万の同胞を強制連行して虐待し、そして殺した。そして今、朴鍾碩君の人權を、ウソつき人間であるときめてけて侵し、彼の正当なる権利を剥奪し、在日韓国人六〇万を愚弄しているのである。裁判における勝利を目前にして、われわれの闘志はさらに強く激し高揚している。断固として日立の民族差別行為を、糾弾し、われわれの民族と

け出された。そして民族差別を糾弾する過程において露呈された日立の諸々の差別は、日本の民主的な人々の目を開かせずにはおられなかった。

「朴君を囲む会」が裁判闘争と共に歩んできた三年間は、実に貴重で評価されるべき時間である。日本社会の無知と偏見に対し、日本人の事務局員と会員は常に自分自身への問いかけと模索を繰り返して、日本人の内なる問題として葛藤してきた。そして日本と韓国の歴史がいかに歪められ、教育され、そうした上につとった韓国人が、いかに間違ったものであるかを知らずとも、在日韓国人の真の解放なくして日本人自身の解放もあり得ないことを知ったのである。

我々が在日韓国人にとって朴君のような差別は、日常茶飯事なものとして存在している。しかしわれわれはそうした状況に対し、闘うことが少なくなかった。日常的生活に埋没してしまっている。日本の同化政策に対し、内心は強い反発を感じながら、も、まけてしまった。朴君の差別はまさに氷山の一角でしかなく沈んだ部分は途方もなく大きい。今こそわれわれは立ちあがらなくてはならない。民族差別に対して、あらゆる差別に対して、あらゆる差別に対して闘い、そして勝ちとて行くことによって、はじめてわれわれの民族的主体性が確立されて行くのである。

●日立への糾弾と運動の国際的連帯

日立の犯している行為は、世界の中の差別・抑圧されている人々によって享有され、断固排撃されなければならぬ。日本においては、在日韓国人をはじめとする日本人の市民運動体が共闘を申し入れて来ている。日立の在日韓国人に対する民族差別は、裁判闘争と運動闘争によって、白日のもとにさらけ出された。そして民族差別を糾弾する過程において露呈された日立の諸々の差別は、日本の民主的な人々の目を開かせずにはおられなかった。

「朴君を囲む会」が裁判闘争と共に歩んできた三年間は、実に貴重で評価されるべき時間である。日本社会の無知と偏見に対し、日本人の事務局員と会員は常に自分自身への問いかけと模索を繰り返して、日本人の内なる問題として葛藤してきた。そして日本と韓国の歴史がいかに歪められ、教育され、そうした上につとった韓国人が、いかに間違ったものであるかを知らずとも、在日韓国人の真の解放なくして日本人自身の解放もあり得ないことを知ったのである。

日立の犯罪的民族差別を糾弾する

張 鮮 仁

我々が在日韓国人にとって朴君のような差別は、日常茶飯事なものとして存在している。しかしわれわれはそうした状況に対し、闘うことが少なくなかった。日常的生活に埋没してしまっている。日本の同化政策に対し、内心は強い反発を感じながら、も、まけてしまった。朴君の差別はまさに氷山の一角でしかなく沈んだ部分は途方もなく大きい。今こそわれわれは立ちあがらなくてはならない。民族差別に対して、あらゆる差別に対して、あらゆる差別に対して闘い、そして勝ちとて行くことによって、はじめてわれわれの民族的主体性が確立されて行くのである。

●日立への糾弾と運動の国際的連帯

日立の犯している行為は、世界の中の差別・抑圧されている人々によって享有され、断固排撃されなければならぬ。日本においては、在日韓国人をはじめとする日本人の市民運動体が共闘を申し入れて来ている。日立の在日韓国人に対する民族差別は、裁判闘争と運動闘争によって、白日のもとにさらけ出された。そして民族差別を糾弾する過程において露呈された日立の諸々の差別は、日本の民主的な人々の目を開かせずにはおられなかった。

「朴君を囲む会」が裁判闘争と共に歩んできた三年間は、実に貴重で評価されるべき時間である。日本社会の無知と偏見に対し、日本人の事務局員と会員は常に自分自身への問いかけと模索を繰り返して、日本人の内なる問題として葛藤してきた。そして日本と韓国の歴史がいかに歪められ、教育され、そうした上につとった韓国人が、いかに間違ったものであるかを知らずとも、在日韓国人の真の解放なくして日本人自身の解放もあり得ないことを知ったのである。

我々が在日韓国人にとって朴君のような差別は、日常茶飯事なものとして存在している。しかしわれわれはそうした状況に対し、闘うことが少なくなかった。日常的生活に埋没してしまっている。日本の同化政策に対し、内心は強い反発を感じながら、も、まけてしまった。朴君の差別はまさに氷山の一角でしかなく沈んだ部分は途方もなく大きい。今こそわれわれは立ちあがらなくてはならない。民族差別に対して、あらゆる差別に対して、あらゆる差別に対して闘い、そして勝ちとて行くことによって、はじめてわれわれの民族的主体性が確立されて行くのである。

金泉化学工業株式会社

代表取締役 張 尚 宰

本社 東京都板橋区新河岸1丁目14-7

電話03 (933) 3161~2 番

(932) 5769 番

支社 神戸市須磨区若木町2丁目2-13

電話(078) 731-0242 番(代)

トビー実業株式会社大阪支店 代行店

公 認 計 量 所

製鋼原料・製紙原料・非鉄金属・諸機械其の他

本 山 商 店

李 成 基

堺 店 堺市西湊町2-115

電話0722 (41) 2144

美原店 南河内郡美原町大保 213-1

電話0723 (62) 3315

ポリエチレン・スチロール・アクリライト・アセチロイド・ニューソ成型加工

三洋プラスチック工業株式会社

取締役社長 李 小 龍

東大阪市足代北1-12(近鉄布施駅5分)

電話大阪 (06) 783-0131 番

社長室 電話大阪 (06) 781-2286 番